

2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2016年2月21日(日)	実施ブロック	第1ブロック	参加人数	77名
会場	台東リバーサイドスポーツセンター				
大会名	第一ブロック審判講習会				
指導員名	古賀研二、松田統				

指導会当日の概要

・第1ブロック登録チームの審判員を対象に8人制サッカーの主旨、また、主審、補助審判員の役割講義及び主審のポジショニングの講義後、6チームに分けて実技講習を行い。リーダー、主審、補助審判員の役割を決め、実技講習後、育成指導員に良かったところ等講評を解説する。

ブロックコメント

- ・東京都少年サッカー連盟審判部より2名(古賀研二様、松田 統様)の講師をお招きしました。
- ・参加者は第1ブロック全登録チーム参加しました。
- ・第1ブロック登録チームの審判員を対象に8人制サッカーの主旨、主審には、プレイを監視するポジショニングと予測した動き方及び留意点を、補助審判にはベンチコントロール等の役割と留意点を講義により理解を深め、その後実技講習を行い、実技講習後、育成指導員に良かったところ等講評を解説してもらった。
- ・8人制サッカーの講義のあと実技講義の前に、キックオフ、スローイン、フリーキック、コーナーキック、ペナルティーキックの其々の局面でのポジショニングをグラウンドで講義していただいたのが有意義でした。
- ・審判講習会でブロック全体の審判レベルを向上していけたらと思います。
- ・今後ともよろしくお願い致します。

指導員コメント

未着

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2016年1月10日(日)	実施ブロック	第2ブロック	参加人数	36名
会場	江戸川区陸上競技場				
大会名	第31回新春親善少年サッカー大会 第3回TOKYO23チャレンジカップ				
指導員名	川澄正史、丸山和雄				

指導会当日の概要

- ・36名の受講者が午前中座学、午後観戦研修を行った。
- ・座学は第5条主審、第6条副審、主審・副審のシグナル、および審判報告書の書き方である。
- ・例題を使用して審判報告書を全員が作成したのち、説明を行った。
- ・観戦では、全員が数分間の主審の動きを用紙にトレースした。
- ・指導員は二手に分かれ、観戦の説明と審判団反省会を交互に担当した。

ブロックコメント

- ・2Bでは、昨年度に於いて、1人審判制をテスト的に採用してみたが、帯同レベルでは問題点が多く、本年度より全面的に3人制に戻し、対応する事と致しました。
- ・U-12リーグが始まり、試合数も増え、それに伴い、帯同審判をやって戴く機会も増えました。
- ・帯同審判レベルの向上を目的とし、東京都少年連盟の育成指導員をお招きして、3人制審判の基本をテーマに、今回の研修会を実施する事と致しました。
- ・指導員の川澄様、丸山様には、朝からほぼ1日にわたり、親身にご指導を戴き、大変、感謝しています。
- ・残念な事に、今回は、2Bを構成している江戸川区と葛飾区との日程が合わず、江戸川区のみを対象とする研修会になってしまった事でした。
- ・しかし、研修会は、当初の目的を達成できた、良い内容であったと実感しています。
- ・次回は、葛飾区を対象とした研修会を行う予定ですので、その際には、宜しくお願い致します。

指導員コメント

- ・森委員長、塩家審判部長はじめ大会運営に関わるスタッフは、大会参加選手、関係者、そして審判団に丁寧に対応されていたのが印象的であった。
- ・参加者は集中して座学に参加され、質問も多く出て深く理解したいという気持ちが表れていた。
- ・スタンドからの観戦時もメモを取りながら解説を聞かれるなど、向上心の高さを感じた。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2016年1月11日(月)	実施ブロック	第3ブロック	参加人数	18名
会場	練馬区総合運動場				
大会名	第33回体育の日記念5年生大会 第3ブロック予選				
指導員名	川澄正史、宮崎雄二				

指導会当日の概要

- ・体育の日記念5年生大会への進出3チームを決定する最終日の4試合を研修対象とし、参加者は試合を見学し、各試合ごとの審判団反省会に参加した。
- ・4試合は準決勝2試合、3決、決勝である。キックオフ時刻は10時、10時50分、12時30分、13時20分。
- ・準決勝の反省会は昼休憩時に、午後の2試合反省会は決勝終了後に行った。
- ・反省会後には、当日の事象に限定せず質問時間を設けた。

ブロックコメント

- ・今回の第3ブロック審判研修会実施の決定が年末であったため審判員への周知期間が短かったこと、および連休のため参加可能審判員が多くなかったことから参加者数は18名にとどまった。
- ・担当審判員は指名した主審4名、副審4名、および帯同審判員であった。これら審判員にとっては結果的に実技研修となった。
- ・次回の審判育成指導会については、特に公式試合を対象とするのに拘らず、参加者数が増えるような日程を優先して実施したい。

指導員コメント

- ・第3ブロックでの審判育成指導会の実施は4年ぶりでした。
- ・主審2名は中央大会審判員であり、初級レベルの指導は必要なく、副審・四審をどうリードするかの指導を行った。
- ・他の主審には動きやポジショニングを主に指導した。見学参加者にとっても参考になったと思う。
- ・反省会後の質問時間では、深く掘り下げた質問もあった。
- ・質問時間が更に有意義になるべく、事前に質問を書いて提出頂く形なども工夫したい。

指導会写真

なし

2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年9月6日(日)	実施ブロック	第4ブロック	参加人数	74名
会場	杉並第十小学校				
大会名	4ブロックJA決勝大会				
指導員名	古賀研二、小野寺智				

指導会当日の概要

- ・JA東京カップの4ブロック代表決定戦を利用してブロック審判員のレフリングを見てディスカッションを行った。
- ・4試合観戦し審判員と個別にディスカッションした後、リスタート時の一人審判と三人審判の動きの違いや一人審判法の立ち位置や監視事項を実際に皆でフィールドに立ち共有した。

ブロックコメント

- ・第4ブロックでは、今年度よりすべての試合において「一人制審判」を導入・実施していくことになりました。
- ・「審判員の質の向上」が常に課題として挙がっている状況で、今回の「審判講習会」の開催となり、審判部川澄様のお力により古賀審判部長様、育成担当小野寺様を招聘するに至りました。
- ・その当日に向けては、ブロック内の各チームには、全チームの参加をお願いし、当日を迎えました。
- ・当日は、JA杯ブロック決勝トーナメントの日で、4試合をブロック所属の審判の方が審判しました。
- ・試合開始前に、まず、受講者への「座学」がありました。
- ・決勝トーナメントは、全部で4試合。1試合ごとに審判の方へ指導があり、その状況を受講者の方も参観するといった、タイムリーでとても温かな指導をいただきました。
- ・全試合が終了の後には、受講者が「審判役」「選手役」となり、ジャッジを行う「ポジション」や「動き方」等について、懇切ていねいに教えていただきました。
- ・今回の指導者講習会では、審判を行う際の大事なことをたくさん教えていただき、感謝しています。
- ・そして、ご指導いただいたお二人の「人柄」の素晴らしさも、随所で学ばさせていただきました。
- ・参加者にとっては、とても有意義な講習会だったと感じており、今後は、学んだことをブロックの子供たちに還元していきたいと強く感じました。

指導員コメント

- ・審判部組織はしっかりしていて何ら問題なく感じますが13名と少人数で高齢化しているのは否めません。
- ・参加者が74人と多くブロック内の意欲を感じました。
- ・中には3級強化の学連所属審判員も居りましたので若手登用などを試みるのもいいかと感じました。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2016年2月6日(土)	実施ブロック	第7ブロック	参加人数	17名
会場	駒沢第二球技場				
大会名	2015年度トレセンリーグ				
指導員名	須原清貴、岩崎英一				

指導会当日の概要

- ・7ブロック技術指導部が主催する女子TCと近隣5地区の4年生のTCチームとのリーグ戦。
- ・各地区より計12名が本大会を利用しての審判研修を行った。
- ・内4名は中央大会経験者、8名は今回育成対象の審判員で、A、B面に4名ずつに別れてそれぞれ一人制審判1試合(1,3ピリオド)の主審を行った。2ピリオド目は中央大会経験者が担当し、その間A面(岩崎)、B面(須原)がそれぞれ技術指導を行った。

ブロックコメント

- ・第7ブロックは目黒区、渋谷区、新宿区、文京区、千代田区の5区(45チーム)で活動しております。
- ・審判部長、審判副部長3名と各区の中から選ばれた審判員から審判部を構成し、各会場に審判部員を派遣して帯同審判へのアドバイスをを行っています。
- ・今回は第7ブロックトレセンリーグ(各区、5区と女子の6チームからなる)の試合を利用して、1人審判の研修会で東京都の中央大会に参加している審判員と都のアクティブを行っている方に参加してもらい1人審判での監視の優先順位、年齢、体力を考慮しての大きく分けて3つの動き、判定などを指導して頂きました。
- ・審判部として各区の帯同審判にアドバイスを行なってブロック全体のレベルアップを目指したいと思います。
- ・今回ご指導頂きました、岩崎英一指導員、須原清貴指導員本当にありがとうございました。

指導員コメント

- ・基礎技術(判定力や走力)とモチベーションともに高い審判員が多く所属しており、今後のポテンシャルを感じるブロックでした。
- ・今回拝見した審判員数名には中央大会や東京都アクティブ3級として多くの経験を積んで頂きたい。
- ・今回の研修では、試合と試合の間に時間が無く、丁寧なアドバイスが難しかった。次回から時間配分に工夫できると、更に効果的な研修になると思う。
- ・試合開始前の打ち合わせで確認した、一人審判での得点、オフサイド、ファールの監視の優先順位、個人の体調にあった運動量の確保について各自意識して望んでいたと思われる。
- ・いずれの審判員も1ピリオド目に指摘した事項や、アドバイスされた点を3ピリオド目にはかなり修正できており、今回参加された方々の意欲やチャレンジを感じることであった研修会であったと思います。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2016年3月5日(土)	実施ブロック	第8ブロック	参加人数	63名
会場	中央区立佃島小学校				
大会名	8B 審判研修会				
指導員名	川澄正史、塩家利孝				

指導会当日の概要

- ・指導員の挨拶後、実技研修に先立ち、ピッチ脇にて、3人制審判法の注意点及び、主審・副審・四審の任務等の説明。
- ・研修参加者63名は、8分1本の16試合で、主審、副審、第4審判のいずれかを1回は担当する形式で実技を行った。
- ・ゲーム観戦中に解説と、ゲーム終了後に担当審判員への、アドバイスをを行った。

ブロックコメント

指導員コメント

- ・当初、参加審判員が全員1度は主審・副審・四審の何れかを行うとの事で、1試合毎に担当審判員に対し、アドバイスを行う方式で研修を行う予定でしたが、ゲームの最中に質問が多く、急遽、ゲーム観戦中にも解説を行いながら、研修を進める形となった。
- ・真剣にまた、積極的に研修会に参加している審判員が多く、今後のレベルアップに繋がる、充実した研修会が行えたと思う。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年9月21日(月・祝)	実施ブロック	第9ブロック	参加人数	58名
会場	三鷹市福祉会館3F				
大会名	8人制1人審判法座学講習会				
指導員名	古賀研二、宮崎雄二				

指導会当日の概要

- ・三鷹市の審判員を中心に約60名が参加。
- ・古賀指導員による主審の心構え・位置取り・走り方などの説明。
- ・宮崎指導員により補助審判の心構え・仕事などの説明。

ブロックコメント

- ・指導員の皆さま当日はご指導ありがとうございました。天候により当初の予定とは違った内容になってしまいましたが、臨機応変なご対応感謝いたします。
- ・ご指導いただいた審判員からも「普段気付かない点やあまり意識していなかった点などをアドバイスいただきとても参考になりました」と好評でした。
- ・府中市・調布市によるブロック運営は本年度で最後になりますが、来年度以降もそれぞれの所属ブロックで審判員が活躍してくれることを願っています。
- ・引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。

指導員コメント

- ・座学による一人審判の指導を行いました。
- ・実技を見る機会が無かった為、技術レベルは解りませんが、三鷹市を中心に60名程が参加され講義終了後質疑も活発でした。
- ・また、ブロック内審判部役員の連繋が良いと感じられました。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年10月17日(土)	実施ブロック	第10ブロック	参加人数	16名
会場	府中市少年サッカー場				
大会名	全日本少年10ブロック大会				
指導員名	望月通、神田明				

指導会当日の概要

- ・全日本少年東京都10ブロック大会の決勝トーナメント1回戦と準々決勝を利用した審判研修会でした。
- ・試合は2コートを使用して全10試合行われました。
- ・審判部長から主審を担当した全審判員にコメントしてほしいとの要望があり、1コートずつを担当し、トレースはブロックの役員にお願いいたしました。反省会が次の試合中になったので、各審判員には指導員が気づいた点について簡単にコメントしました。
- ・全試合終了後に、全体を総括してそれぞれコメントをいたしました。

ブロックコメント

- ・10月17日に行われました全日本少年サッカー大会ブロック予選において、一人審判のノウハウとスキルアップを目的とし、東京都少年連盟審判部育成指導員の方をお迎えし審判研修会を実施いたしました。
- ・当日は、東京都少年連盟審判部より望月様と神田様を指導員としてお招きし、ご指導いただきました。
- ・全10試合を審判部12名が担当し、それぞれの試合後に細やかなアセスメントを頂きました。
- ・試合中のことから、試合前、試合後の心構えや準備にいたることまで審判員に必要なことをご指導頂きました。また、当ブロック審判部員を指導員と一緒にトレースを描くなど指導をしていくことまでレクチャーを頂き有意義な研修会となりました。今後もこのような機会を設け、実戦指導を一人でも多くの審判員が経験できるようにするとともに、ブロック全体の指導のレベルアップが図れるようにしてまいります。
- ・引き続きご指導よろしくお願いいたします。

指導員コメント

- ・一人審判でボールの競り合いを見極めるためには、運動量とゲームの展開を読む力が必要です。
- ・1、2歩早く動きだせれば、争点に近いところで判定ができます。また、サイドステップ、バックステップを使って視野を広げ、良い角度から争点を監視することに、正しい判定ができると思います。
- ・次に、試合前の準備運動、ストレッチを十分に行ってください。そして、競技規則の精神である安全、公平、公正、喜びを理解したグッドレフェリーを一人でも多く増やしてください。
- ・審判員のレベルの高さと審判に対するやる気を感じられ、このあたりが10ブロックの強さではないかと思いました。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年12月13日(日)	実施ブロック	第12ブロック	参加人数	15名
会場	日野市多摩川グランド				
大会名	12ブロック3年生大会決勝リーグ				
指導員名	鬼木崇嗣、川澄正史、丸山和雄				

指導会当日の概要

- ・4級審判員で経験2～3年及びまったくない人を対象に12ブロック内育成指導員が各主審・各副審にマンツーマンで指導を行った。(含女性2名)
- ・ブロックによるこの個別指導の他に、各試合終了直後の反省会において審判育成指導員が審判団へのアドバイス等を行うという形で進められた。

ブロックコメント

- ・初心者実技研修会は始めて実施しましたが、受講者の皆さんがアドバイスを素直に聞いてくれ、その吸収の早さには驚かされました。
- ・事前研修でサイドステップなどの動き方やフラグテクニックについて行ったのが効果的だったと思います。
- ・これを機に毎年3年生大会を使った初心者実技研修を定例化しようと思います。
- ・今後とも宜しくお願い致します。

指導員コメント

- ・参加審判員の皆さん強い熱意が感じられ、他のクルーの試合後の反省会も周囲を取り囲んで熱心に聞いたり、質問をされていました。
- ・審判育成指導員としてやりがいを感じる研修会でした。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年5月17日(日)	実施ブロック	第13ブロック	参加人数	69名
会場	清瀬コミュニティプラザひまわり				
大会名	13ブロック審判研修会				
指導員名	古賀研二、佐藤克久				

指導会当日の概要

・少年連盟8人制サッカーに対する1人審判法について

12:30-13:00 受付 (13B、山口審判部長)

13:00-14:00 文字と映像による座学(古賀)

14:30-17:00 グラウンドにてデモゲームを使つての実際の実技指導(古賀、佐藤)

17:00 閉会

ブロックコメント

・ブロック編成後、初めての審判研修会を、古賀部長、佐藤氏の講義、実技研修を行いました。

・講義では、映像などを見ながら説明していただき、実技では、試合終了後、主審、補助審判にアセスメントをしていただき、日頃アセスメントをあまり聞くことのないので、良い経験を、させて戴きました。

指導員コメント

・参加者43チーム、総勢69名。若手の指導者も多く参加いただき、旧高校の施設を使用しての講義でも真剣な姿がみられた。

・実技11試合、その多く補助審の反対サイドでジャッジする審判員が多かった印象だが、予測能力が高い何人かは争点への寄りもはやく、さらに実戦を積んでベテラン審判員とも協力してゆけば、十分に1人審判でも開腹なく活躍できる人材はいるブロックだと感じた。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年5月16日(土)	実施ブロック	第15ブロック	参加人数	59名
会場	羽村市産業福祉センター				
大会名	15ブロック審判部会				
指導員名	川澄正史、加藤義行				

指導会当日の概要

・15ブロック審判部会の前半30分間の時間を使った講演「4種審判員に求められること」その後「審判員の役割」「選手とのコミュニケーション」をテーマにしたグループ討議と発表。

ブロックコメント

・当日は4種審判施行におけるポイントをわかりやすく解説していただきました。
・講演後に実施したグループ討議において、メンバーの話し合いの中に入り、積極的な意見交換や、グループ発表後の講評を通して、非常に有意義な講演会となりました。
・今後もこの様な研修を開催し、審判員の育成に努めていきます。

指導員コメント

・約60名の審判員にお集まりいただき、短い時間でしたが有意義な時間を過ごさせていただきました。
・本日は残念ながら実技指導が出来なかったため、次回は実技を含めた育成指導会が出来ることを期待しています。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2015年7月19日(日)	実施ブロック	第15ブロック	参加人数	26名
会場	あきる野市雨間グランド(上流)				
大会名	Aリーグ(秋川流域リーグ)6年				
指導員名	丸山和雄、今井大三				

指導会当日の概要

・秋川流域リーグ6年生の公式戦を活用し、15ブロックに所属するチームの審判員を対象に実技講習会を開催。
・経験者から初心者まで幅広いキャリアの方々が参加。参加者のレベルに応じてグループ分けを行い、試合で審判を行ったあと、参加者とスタッフが参加し振り返りミーティングを実施した。

ブロックコメント

・お陰様で充実した講習会となりました。参加審判員にお二人のアドバイスを真剣に聞き取る姿を見ることができました。
・今後も中央へ推薦できる審判員の育成に取り組んでまいります。

指導員コメント

・今回は初心者対応と言う事で、基本を頭で憶えるのではなく、身体に覚え込ませてしまうように指導を行いました。

指導会写真



2015年度・審判育成指導会の実施レポート

実施日	2016年2月21日(日)	実施ブロック	第16ブロック	参加人数	9名
会場	駒沢補助競技場				
大会名	ピザハットカップ 第22回きさらぎ杯 東京都少女サッカー交流会				
指導員名	熊澤登志也、村上泰一				

指導会当日の概要

- ・16ブロック所属の20チームが5ブロックに分かれ、各ブロックで2日間リーグ戦を行い、8人制サッカーで順位を決定していく大会。
- ・審判員は、主審と補助審判員の2人制で、各チームの帯同者でした。

ブロックコメント

未着

指導員コメント

- ・審判員として、積極的な方もいましたが、帯同ということで動きが少なく、合図も曖昧でライン際までの監視が出来ていません。
- ・今後の期待を込めてアドバイスをしたところ素直に受け入れたことは、うれしく思いました。

指導会写真

